

特別区協議会

- プログラム概要 : 特別区(東京23区)を知り、考える
 実習先 : 公益財団法人 特別区協議会(東京区政会館4F・3F)
 実習先情報 : 特別区協議会は特別区(東京23区)の自治の発展を目的として設立された公益財団法人です
 参加人数 : 2名
 学部学科 : 環境システム学科、データサイエンス学科
 実習期間 : 令和4年8月8日～9月8日
 本学担当教員 : ドナ・ウィークス(政治学科)

○はじめに

フィールドスタディ実習生から一言ずつ

私は公務員志望だったため、職場の雰囲気や環境を肌で感じて就職活動に役立てたいと考え、このプログラムに応募しました。

私は、今回のフィールドスタディーズを通して、実際に社会で働くことについて体験し、幅広い分野について学びたいと思いこのプログラムに応募しました。

○実習内容

1. 特別区自治情報・交流センターでの展示の企画、実施
2. 区政会館エントランスホールでのコーナー管理
3. 特別区の課題解決のための研究会業務
4. 講座・講演会の運営
5. 施設見学
→千代田図書館・有明清掃工場・中防処理施設・日本橋浜町・古書店
東京都公文書館

○提案したこと、発信したこと、など

今回私たちは、特別区自治情報・交流センターでのガラスケース展示の企画、実施を行いました。

東京都23区の防災・まちづくり分野において特に力をいれていることを一目で知ることができる展示にするために、23区それぞれの基本計画をもとにパネルを作成しました。また各区の基本計画の詳細について書いたPDF資料を作成し、QRコードにすることで、ネット上でも閲覧できるようにしました。



ガラスケース企画展示

○経験したこと、学んだこと

○ガラスケース企画、展示

→23区それぞれの基本計画やまちづくり等の具体的政策について知ることができました。また、1から作り上げることの大変さと、より良いものを作るために、多くの人の意見を取り入れることの大切さを学びました。

○古書店・千代田図書館

→千代田図書館では展示についての見学し、アドバイスも頂きました。
また古書店ではさまざまな資料に触れ、残していく事の大切さを学びました。

○講座

→設営・運営を手伝わせて頂き、多くの人に認知されない仕事であっても講座の成立に大きな寄与をしているのだと知ることができました。

○有明清掃工場・中防処理施設

→それぞれの場所での仕事や施設についての説明を受けました。
有明キャンパスから高速道路を挟んで反対側に立地する有明清掃工場では主に江東区で出たごみを担当しており普段のキャンパスライフで出してしまったごみがどのように処理されるのか間近に見ることが出来ました。

・東京都公文書館

→公文書館では公文書を保管する他に住民に行政がどのように運営されているのかや地域の歴史を普及啓発する役目があることを知りました。

・オール東京「みどり・東京温暖化防止プロジェクト」

→離島を含めた東京都全体での取り組みについて学び、実際に行動に移していくことの大切さを学びました

・全国連携プロジェクト:オンライン講演会の設営、拝見

→官民連携のあり方について、行政側と民間側双方の視点について学び、実際の取り組みについて学ぶことができました

・研究会

<日本橋浜町見学>

→実際に取り組みによって街がどう変わっているかなどをお話を聞きながら、見学することができました

<ZEB普及>

→ZEB(ゼロカーボンビル)の公共施設への普及に向けては、様々な課題がある中、どのように普及させていくか研究が進んでいることを知りました。

<循環型経済>

→地域の特色を残しながら、少子高齢化やデジタル化など変わっていく時代にどう対応していくかについて学ぶことができました

<子育て支援>

→人口減少を踏まえた上での保育園の数の削減についてや、質の保ち方、それらに区としてどのように関わっていくかについて学びました

○今後の展開、今後の学び、

実際に社会に出て働くと、今までの経験や深い知識のアウトプットを求められるということを体感したので、大学生のうちに、たくさん学び、知識を蓄えていこうと思います。好奇心を大切に色々なことを吸収していく大学生活にしていきたいです。